

光を北方から

令和5年度学校だより第3号

<発行責任者>

北海道旭川盲学校

校長 宮岸 尚平

令和5年12月22日

これまでの素晴らしいPTA活動に感謝

校長 宮岸 尚平

記録的な猛暑の中で始まった2学期でしたが、あの暑さは何だったのかと思うぐらいすっかり寒くなり、一面銀世界で2学期の終わりを迎えました。とは言え、今年の夏の猛暑は今後の学校に大きな影響を与え、新聞報道等でご存じのとおり来年度の長期休業日はこれまでに比べ6日長くなり夏冬合わせて56日間を設定できるようになりました。また、来年度は全ての特別支援学校の普通教室及び舎室に窓用エアコンが設置され、令和7年度から順次ルームエアコンが設置されるようです。これまでの北海道ではなかったような暑さが今後も続くと思いますので、子どもたちが快適に学校生活を送ることができるよう設備面はもちろん制度面も含めてしっかりと暑さ対策を行ってみたいと思います。

さて、学校ホームページでお知らせしておりますが、本校は令和5年度「優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞し、11月24日（金）にホテルニューオータニ東京で行われました表彰式に保護者の方2名と一緒に参加してきました。「優良PTA文部科学大臣表彰」の受賞校122校のほか5つのPTA関連の表彰式が同時に行われたため1,000名を超える参加者という想像以上の表彰式で、改めてこのような素晴らしい表彰を受賞することができことを大変うれしく思いました。長年に渡り素晴らしいPTA活動を行ってきた保護者の皆様、教職員の皆様に感謝するとともに今後もこれまでのPTA活動を引継ぎながら、時代の変化に応じた活動を積極的に行ってまいります。

令和5年も残すところあとわずかとなりました。皆様にとってどのような年だったでしょうか。保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげで、長い2学期を大きな事故などもなく無事に終えることができることに礼申し上げます。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。良い年を迎えてください。



幼稚部の様子

さて、問題です。「『1124』、この数字の意味は何でしょう」・・・実は、幼稚部3歳児クラス2名、5歳児クラス1名がようやく揃った日にちなのです。9月に5歳児クラスができてから、3ヶ月ほどの時間を経て実現しました。3人が揃った写真は、その日の帰りの会のものです。一人一人それまでの時間を積み上げてきた成果が表れているように感じます。

身体的面での成長はもちろん、大人との関係性から少しずつ子ども同士の関係性へとコミュニケーションの部分でも育っています。3学期も互いに刺激し合って楽しい時間を過ごしていきたいですね。



小学部の様子

今年の社会見学では、「旭山動物園」に行きました。たくさんの動物の鳴き声やにおいを体験し、動画や絵本などからだけでは学べない経験をすることができました。シロテナガザルの鳴き声が数百メートル先から聞こえ、そのとても大きな鳴き声に児童たちは圧倒されていました。後日、教室からもシロテナガザルの鳴き声を真似する児童たちのにぎやかな声が響いていました。また、事前学習では動物園スタッフの方に出前授業をしていただき、頭骨や毛皮などをじっくりと触らせていただきました。

日常の学習では、調理実習やクラブ活動などの特別な活動にも取り組みながら、日々の授業を大切にしていって、確実に学びを深めてきました。3学期もみんなで楽しく勉強していきます！



教育実習生と



動物園事前学習



調理実習



旭山動物園



生活科落ち葉ひろい



点字の学習



日常生活の指導



動物園ふれあい体験

中学部の様子

暑い夏を乗り越え、長かった2学期。始業式からは、北翔大学の教育実習生が来て、プール学習やどきどきウォーク、花咲競技場での校内陸上記録会を一緒に取り組みました。8月は本当に暑い日が続きましたが、冷房のある教室をうまく活用して乗り切りました。9月には、札幌視覚支援学校での盲学校の文化体育連盟競技会が行われ、他の盲学校の仲間との交流は充実した時間になりました。また、コロナ禍で中止していた北門中学校との交流を再開できました。北門祭に招待され、合唱コンクールを観ることができました。10月は、職場体験学習で、2・3年生が事業所で働いたり、福祉施設の体験をしたりしました。進路講話では、卒後の生活について本校の卒業生から話を聞きました。その後は、学習発表会に向けて、猛練習に励みました。11月には全校集会で歌手のシオンさんと一緒に歌ったり、セラピードッグと触れ合ったりしました。そして、2学期最終月の12月。PTAでは親子スケート大会が開かれ、楽しい時間を過ごしました。最終日は総合的学習の時間の一環であるゆめどきタイムで、参観される方々に楽しんでもらう企画を考え、準備をしてきました。この2学期はたくさんのイベントがありました。その中で一つ一つ経験を積み重ね、日々成長していることを実感します。何より生徒達のいきいきと活動している姿が印象的でした。残りの3学期も楽しく明るい学校生活を送りながら、学習に取り組んでいきます。



みんなで札幌に GO！やっぱりいいね！文体連

4年ぶりの札幌での開催。7日朝、学校前からバスで出発。たくさんの皆さんの見送りから盛り上がりしました。札幌では大倉山ジャンプ台で昼食。3年生はジャンプ台の上まで登りました。交流会も他校の生徒さんたちと仲良く取り組みました。宿泊先では食べきれないほどの夕食！みんなでお風呂に入ったりしながら楽しめました。

8日、文体連の体育活動では札幌視覚支援学校のグラウンドで開催。他校生との競い合いに見ている先生方も熱くなりました。1学期から練習してきた成果を発揮、いや実力以上のチカラを発揮した生徒さんもありましたね！そして、仲間たちと出場したリレー。バトンが繋がり最後までゴールできたときは感動でした。今回、勝ち負け以上に、集まって競い合えることの素晴らしさを感じた文体連でした。応援してくださった皆様、ありがとうございました。



学習発表会の様子

10月28日(土)に学習発表会を行いました。今年度は「輝け！15人のPOWER!」のテーマのもと、幼児児童生徒15名は自分のもてる力を発揮し、一人一人が輝いた発表会となりました。

幼稚部・小学部の劇「大きなかぶ」では学校菜園で作ったトマトやキュウリの収穫の様子や劇にちなんだクイズなどオリジナリティーがありました。最後にみんなで「かぶ」を引っ張って抜けたときのみんなの表情は喜びにあふれていました。

中学部の劇「走れメロス」では、結婚式のシーン、メロスとセリヌンティウスの友情、戦う姿など一人一人が役に入り込んでいました。言葉だけではなく、体も大きく使って表現することができていて、みんなの頑張りや成長を感じられる劇となりました。

最後に小中学部の外国語活動・音楽発表では、「ベイビーシャーク」「カラーズカラーズ」の英語の歌を振り付けも入れて歌うことにも挑戦しました。器楽では小学部、中学部とみんな落ち着いて演奏をすることができました。子どもたちのパワーがみなぎる発表となりました。



寄宿舍「クリスマス会に向けて」

12月20日(水)にクリスマス会があります。クリスマスツリーコンテストもあり、飾り付けができれば学校の玄関に飾ります。学校の先生にも投票してもらい、各賞(サンタもびっくりで賞、これぞクリスマスで賞、みんなが笑顔になるで賞、きょくもっちゃんにぴったりで賞)が決まります。どんな賞がもらえるか各舎室、楽しみにしています！プレイルームの大きなクリスマスツリーにもみんなで飾り付けをして、クリスマス気分が盛り上がってきました！



「セラピードッグ触れ合い体験」

11月22日に、セラピードッグとの触れ合い体験がありました。「セラピードッグあさひかわ」から、スタンダード・プードルが3頭、そしてこれまでも何度か本校に来校していた老犬のトイ・プードルが1頭、合わせて4頭が来てくれました。代表の中村さんによると、4年ぶりに老人ホームなどの施設訪問も再開したとのことでしたが、はじめ緊張気味だった子どもたちも、大人しくて穏やかなセラピードッグとの触れ合いがすすむうちに、自然に笑顔がこぼれていきました。短い時間でしたが、このような貴重な機会を今後もぜひつくりたいと強く感じました。



看護師の村中さん、ありがとう!!

昨年度からお世話になっている看護師の村中さんですが、12月までの勤務で任期を終了することになりました。

今までどうもありがとうございました。



保護者の皆様へ

子ども相談支援センター

- お子様の学校生活や子育てについての悩みなどをお聴かせください。
- 専門の相談員が応対いたしますので、お気軽に御相談ください。

電話相談 ☎ 0120-3882-56 (無料)
※毎日24時間対応

メール相談 メール相談アドレス
sodan-center@hokkaido-c.ed.jp
※返信は、土日をはさむ時など、数日かかることがあります。
お急ぎの場合は、電話相談をご利用ください。

来所相談 子ども相談支援センター
〒060-8544
札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話番号で、予約のご案内をしています。

【相談できる主な内容】

- いじめ ● 不登校 ● 学業・進路 ● 教師との関係 ● 友人関係
- 生活全般 ● 親子関係 ● 育児 ● しつけ ● 性的マイノリティ
- 性被害

子ども相談支援センターキャラクター
(道内の小、中、高校生の作品)



北海道教育委員会 子ども相談支援センター 〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

相談の内容に応じて、以下の相談ダイヤルも活用してください。

児童虐待かもと思ったら
☎ 189番
(児童相談所全国共通ダイヤル)

子どもの人権 110番
☎ 0120-007-110
(通話料無料、法務局職員または
人権擁護委員による窓口)

少年相談 110番
☎ 0120-677-110
(北海道警察少年サポートセンター)

児童生徒のみなさんへ

かけがえのない
あなたの命を守りたい
話そうよ、ひとりで悩まずに

子ども相談支援センター

- ・あなたの悩みをきかせてください。
- ・名前を言わなくても相談できます。
- ・秘密は守ります。
- ・相談を専門とする人が、悩みをきいてくれます。

- いじめられている、いじめられている友だちを助けたい
- 学校へ行きたいけど行けない
- 友だちとの関係や、家族との関係で悩んでいる
- 家庭の事情で自分の時間がとれない
- 学校の勉強や、進路について悩んでいる
- 性に関することで悩んでいる
- 性的に嫌な思いをしている など

子ども相談支援センター
キャラクター



キタキツネのころる



心の教育推進キャンペーン